

タウンスクランブル ● 街の話題・ニュースあれこれ

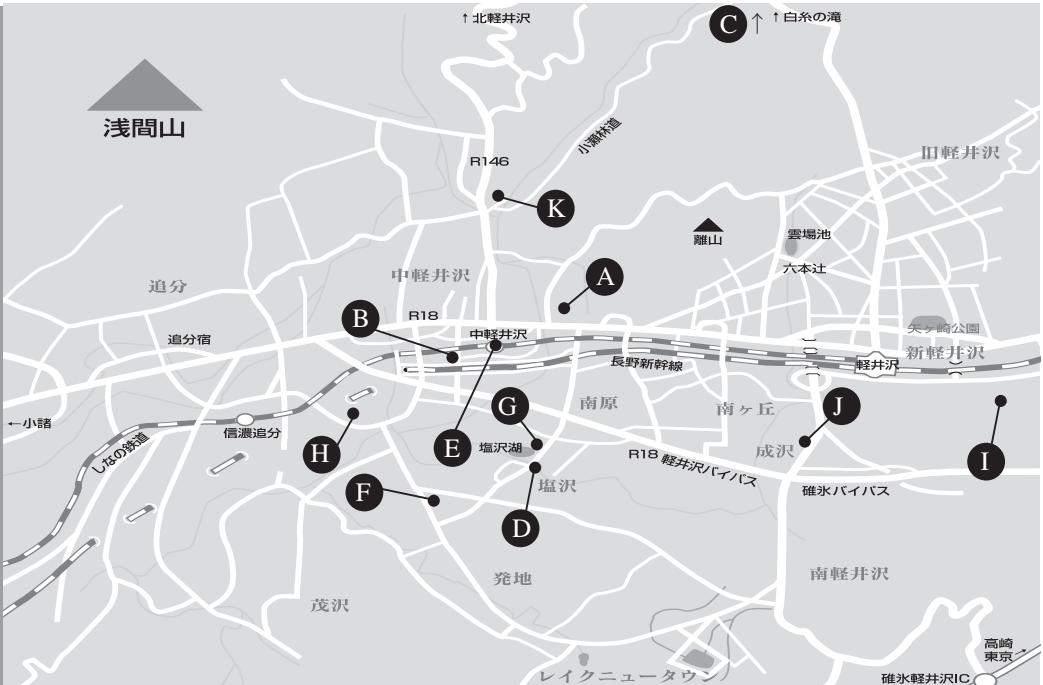
Town Scramble

「珈琲 TO 器 TEN」 4/20 (木) ~ 5/31 (水) B

軽井沢や近郊で営業する
10のコーヒー屋の豆や、
16人の作家によるコーヒ
ーカップを販売する「珈琲
TO器TEN」。店内でも好
きな店のコーヒーを味わう

ことができ、土日を中心に
コーヒー屋、作家によるワ
ークショップも行う。

場所：軽井沢焙煎所／innocent coffee
軽井沢町長倉 2955-15
TEL0267-31-0976



軽井沢版「こども食堂」は、
みんなでアウトドア料理！

キャンプ施設「ライジング・フィールド軽井沢」のスタッフ有志による「軽井沢野外活動クラブ OCEAN」が4月から、軽井沢版「こども食堂」もぐもぐキャンプを始めた。週末に親が仕事で、留守番している子どもらの新たな居場所として、定着させたい考えだ。年間を通じ、週末に月2回程度開催していく。



高橋佑香さんは「サービス業の従事者が多い軽井沢では、必要としている人が多いことを改めて実感した。地域のお子さんに喜んでもらえる場にしていきたい」と話した。

7月までの開催日は4/23(日)・5/7(日)・21(日)・6/4(日)・18(日)・7/2(日)・17(月・祝)。対象3歳～高校生。参加費一人500円。町内3小学校を回るマイクロバスによる送迎もあり。参加申し込みはHP(<https://www.mogumogucamp-karuijawa.jp/>)から受付。TEL0267-41-6891(軽井沢駅前活動クラブOCEAN)

初回の4月9日は一週間前に既に定員に達した。スタッフの

**春から初夏のスイーツフェア、
町内 18 施設が参加**

軽井沢町内のホテル、レストラン、ショップなどで期間限定のオリジナルスイーツを提供する「軽井沢スイーツ散歩～街を彩る花めぐり～」（主催：軽井沢スイーツ実行委員会）が、4月22日から6月30日まで開催される。昨年の秋に続き2回目の開催で、参加店舗は18施設。今回のテーマは「花」。花が咲き、新緑の美しい季節を迎える春から初夏の軽井沢で、観光や散策の

合間に創作スイーツを楽しめる。来年2月のプレミアムイベント招待券が当たる、スタンプラリーも実施する。問合せTEL0267-46-9155（事務局）



<参考施設>
A - WOTO /アトリエ・ド・フロマージュ 軽井沢店／浅間プリンスホテル／ホテルエレガンス／ホテル音羽ノ森／ホテル鹿島ノ森／つるや旅館／モンテクッチャーナ／花岡／プリンスホテル／芳光／マリオットホテル／万平ホテル／ニカラード珈琲／森Q／旧軽井沢森の美術館／野菜がおいしいレストラン／ピエトリー／



編集長交代の お知らせ

「広川小夜子から引き継ぎ、軽井沢新聞編集長に就任した島崎純です。紙面を通じ、『軽井沢の今』を伝えていけるよう精進します。引き続きよろしくお願いします！」

島崎純
1979年上田市生まれ。成城大卒。軽井沢新聞記者として12年間勤務。世界遺産検定マイスター、第54回宣伝会議賞ファイナリスト。趣味は旅行（約30カ国訪問）。



FRESH Karuizawa 20's

軽井沢を築いていく若者たちを紹介し、仕事への意気込みや明日の軽井沢への希望を語っていただくコーナーです。

プロフィール
株式会社ムーゼの森勤務。
富山県富山市出身。名古屋大学大学院文学研究科卒業後、同美術館に入社、4年目。
血液型：O型 星座：てんびん座 干支：
酉（うさぎ）

絵本が好きだった佐々木さんは大学院で英国ビクトリア時代後期の絵本を研究し、学芸員の道へ進んだ。今年で入社4年目になる。軽井沢絵本の森美術館とエルツおもちゃ博物館、両方の企画等を担当している。展示の企画は来館者にとって心地よいひとときとなるよう努めているという。

「森のベンチや絵本図書館でご家族が絵本を読んでいるのを見ると元気が出ます」笑顔に出会えるのが嬉しいと話す。性格は前向き。「野鳥と出会えるのが楽しい」と、毎朝40分歩く通勤も苦にならない。「20年後のあなたは?」という質問には「絵本や本を通して人と触れ合っていると思う」と笑顔で応えた。

